

国立病院機構 大阪医療センターリボズハウス

住所：〒540-0006 大阪府中央区法円坂 2-1-14 国立病院機構 大阪医療センター
患者情報室内

電話番号：06-6942-7321 (FAX 兼用)

開室時間：午前 10 時～午後 4 時(土日祝、年末年始は休室)

院内の患者情報室が外来・入院病棟の正面玄関横にリニューアルオープンされるのにもない、2009年12月14日にがん患者さんとそのご家族の支援活動をおこなうスペースとしてリボズハウスが開設されました。

リボズハウスのある患者情報室は、国立病院大阪医療センターが場所を提供し、NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)が企画・運営責任を担う日本初の試みによる協働作業で開設しています。室内には書籍や情報検索用のパソコンが設置されています。

そもそも患者情報室は2002年4月に大腸がんで亡くなられた、朝日新聞記者・故井上平三さんのご遺志を引き継ぎ、由紀子夫人のご寄付により実現したものです。

平三さんは朝日新聞家庭欄に「がんを生きる」を連載され、その内容をまとめた『私のがん患者術』(岩波ブックレット№569)も発行されています。著書や講演のなかで「患者が気軽に病気や検査、治療方法を学ぶことができる情報室があれば」「同じ病気や治療を受けた先輩患者の体験談を知りたい」と熱く語っていたことから、がんにより亡くなられた平三さんの遺された思いをリボズハウスでも引き継ぎ、がん患者さんに治療や生活に役立つ情報を提供していきたいと思っています。



多くの職員が立ち会った除幕式



患者情報室リボズハウスの看板



室内には多くの書籍が置かれています



情報検索用のパソコン